

参考資料 1：子どもをとりまく地域の状況

第 1 節 少子化の動向

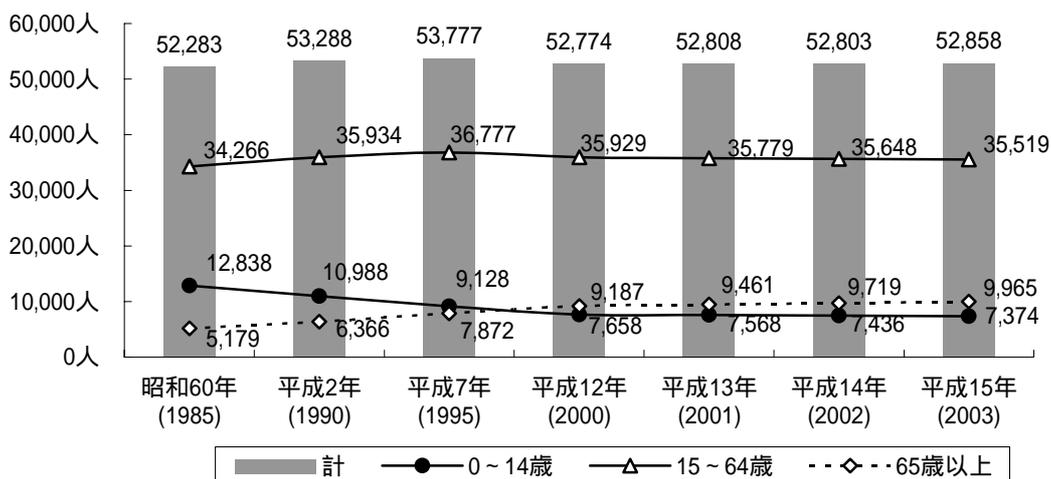
1 総人口および年齢 3 区分別人口の推移

本市の人口は昭和 60 年より 5 万 2 千人～3 千人ほどで推移しており、昭和 60 年～平成 12 年の増減率は 0.9%となっています。

総人口の増減に大きな幅はないものの、年齢別の人口推移を見ると、年少人口（0～14 歳）は 15 年間で 40.3%減少しているのに対し、高齢者人口は 77.4%増加しており、少子高齢化が進行しています。

年齢構成を県および全国と比較すると、昭和 60 年の年少人口比率は、県・全国より高かったものの、平成 12 年には県より低くなっています。また高齢者の比率は、県より高くなっており、県よりも若干早いペースで少子高齢化が進行しています。

図表 1 総人口および年齢 3 区分別人口の推移(各年 10 月 1 日現在)



図表 2 人口構成の推移 単位：%

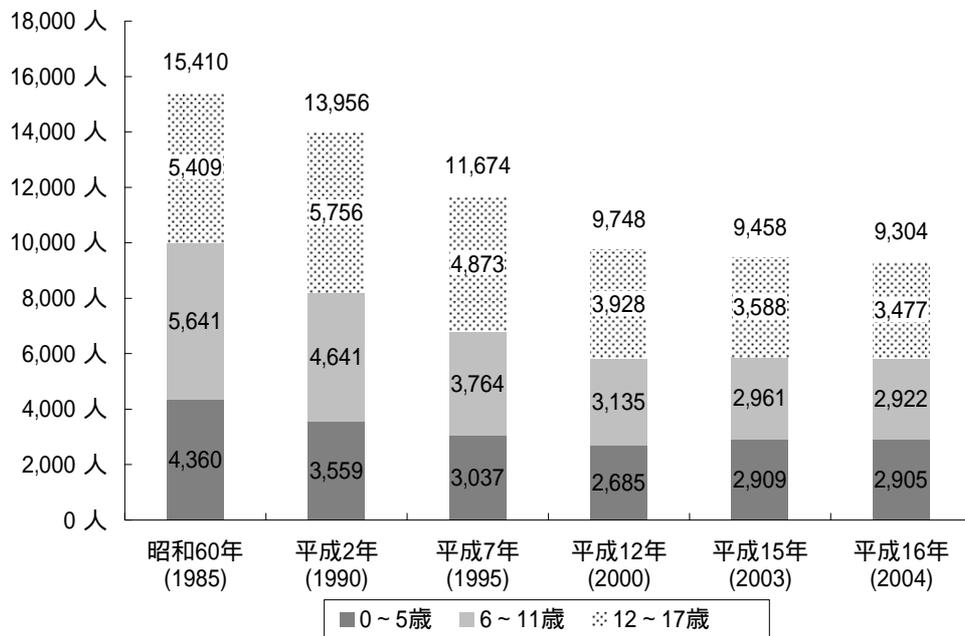
		昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)
0～14歳	結城市	24.6	20.6	17.0	14.5	14.3	14.1	14.0
	茨城県	23.0	19.6	17.1	15.4	15.1	14.9	14.6
	全国	21.5	18.2	15.9	14.6	14.4	14.2	14.0
15～64歳	結城市	65.5	67.4	68.4	68.1	67.8	67.5	67.2
	茨城県	66.7	68.3	68.7	68.0	67.8	67.5	67.2
	全国	68.2	69.5	69.4	67.9	67.7	67.3	66.9
65歳以上	結城市	9.9	11.9	14.6	17.4	17.9	18.4	18.9
	茨城県	10.2	11.9	14.2	16.6	17.1	17.7	18.2
	全国	10.3	12.3	14.5	17.3	18.0	18.5	19.0

資料：昭和 60 年～平成 12 年までは国勢調査、平成 13 年以降は常住人口調査

2 児童人口の推移

18歳以下の児童人口は、昭和60年～平成12年の間に36.7%の減少となっています。どの年代も減少しており、特に小学生（6～11歳）はほぼ半減しています。

図表 3 児童人口の推移 単位：人



資料：昭和60年～平成12年までは国勢調査（各年10月1日）
平成15・16年は住民基本台帳人口＋外国人人口（各年4月1日）

3 出生数・出生率等の推移

出生数は、400人台で推移しており、出生率*は、全国・県と比較して下回っています。

図表 4 出生数(率)・乳児死亡数(率)等の推移 単位：人、‰

		平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)
出生数		453	438	420	476	477	439	445
出生率	結城市	8.6	8.3	8.0	9.2	9.2	8.5	8.6
	茨城県	9.6	9.7	9.5	9.6	9.4	9.3	9.0
	全国	9.5	9.6	9.4	9.5	9.3	9.2	8.9
乳児死亡数		3	1	1	1	4	1	1
乳児死亡率	結城市	6.6	2.3	2.4	2.1	8.4	2.3	2.2
	茨城県	3.4	3.4	3.1	3.1	2.9	3.1	2.9
	全国	3.7	3.6	3.4	3.2	3.1	3.0	3.0
新生児死亡数		1	1	-	1	3	-	-
新生児死亡率	結城市	2.2	2.3	-	2.1	6.3	-	-
	茨城県	1.6	1.6	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6
	全国	1.9	2.0	1.8	1.8	1.6	1.7	1.7
死産数		13	16	19	5	17	12	10
	自然死産数	6	6	6	2	7	5	3
	人工死産数	7	10	13	3	10	7	7
死産率	結城市	27.9	35.2	43.3	10.4	34.4	26.6	22.0
	茨城県	31.6	32.6	30.5	32.0	32.8	32.1	30.7
	全国	32.1	31.4	31.6	31.2	31.0	31.1	30.5
自然死産率	結城市	12.9	13.2	13.7	4.2	14.2	11.1	6.6
	茨城県	14.4	13.3	12.7	12.9	13.1	11.9	13.0
	全国	14.2	13.6	13.7	13.2	13.0	12.7	12.6
人口死産率	結城市	15.0	22.0	29.6	6.2	20.2	15.5	15.4
	茨城県	17.1	19.4	17.8	19.1	19.8	20.3	17.7
	全国	17.9	17.8	17.9	18.1	18.0	18.3	17.8
周産期死亡数		2	2	3	1	5	1	-
周産期死亡率	妊娠22週以後死産数	2	1	3	-	2	1	-
	早期新生児死亡数	-	1	-	1	3	-	-
	結城市	4.4	4.6	7.1	2.1	10.4	2.3	-
	茨城県	6.3	6.1	6.3	5.3	6.6	5.6	6.0
	全国	6.4	6.2	6.0	5.8	5.5	5.5	5.3

資料：茨城県保健統計年報

* 出生率：人口千人あたりの出生数。

4 婚姻・離婚

全国的には婚姻率は横ばい、離婚率は上昇の傾向にありますが、本市においても、同様に推移しています。

県・全国平均と比較すると、婚姻率・離婚率ともに県・全国よりも低くなっています。

図表 5 婚姻数(率)・離婚数(率)の推移 単位：件、%

		平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)	平成15年 (2003)
婚姻件数		279	258	292	330	315	289	301
婚姻率	結城市	5.3	4.9	5.5	6.4	6.1	5.6	5.8
	茨城県	5.9	5.9	5.8	6.2	6.1	5.8	5.6
	全国	6.2	6.3	6.1	6.4	6.4	6.0	5.9
離婚件数		88	91	80	96	95	108	121
離婚率	結城市	1.67	1.72	1.52	1.85	1.83	2.08	2.33
	茨城県	1.65	1.72	1.86	1.97	2.13	2.21	2.13
	全国	1.78	1.94	2.00	2.10	2.27	2.30	2.25

資料：人口動態統計

5 初婚年齢

全国・県ともに初婚年齢は上昇傾向にあります。

平均初婚年齢は、夫は平均28歳、妻は平均26歳となっています。県・全国平均と比較すると、若干早く結婚をする傾向にあります。

図表 6 平均初婚年齢の推移 単位：歳

		平成9年 (1997)	平成10年 (1998)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成13年 (2001)	平成14年 (2002)
結城市	夫	28.4	28.4	28.0	28.6	28.4	28.6
	妻	26.2	26.1	25.8	26.0	26.3	26.6
茨城県	夫	28.3	28.4	28.5	28.6	28.8	29.0
	妻	26.2	26.4	26.5	26.6	26.8	27.0
全国	夫	28.5	28.6	28.7	28.8	29.0	29.1
	妻	26.6	26.7	26.8	27.0	27.2	27.4

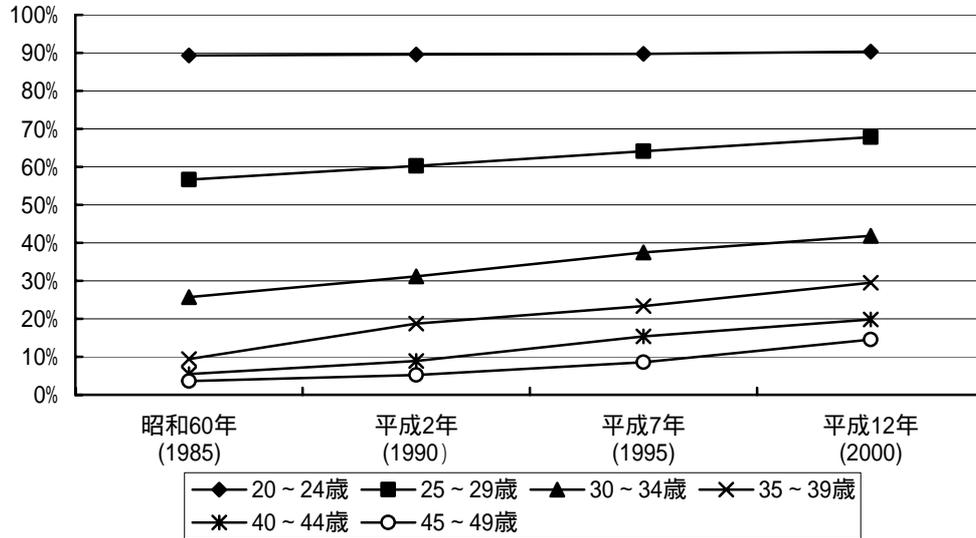
資料：人口動態統計

婚姻(離婚)率：人口千人当たりの婚姻(離婚)の件数

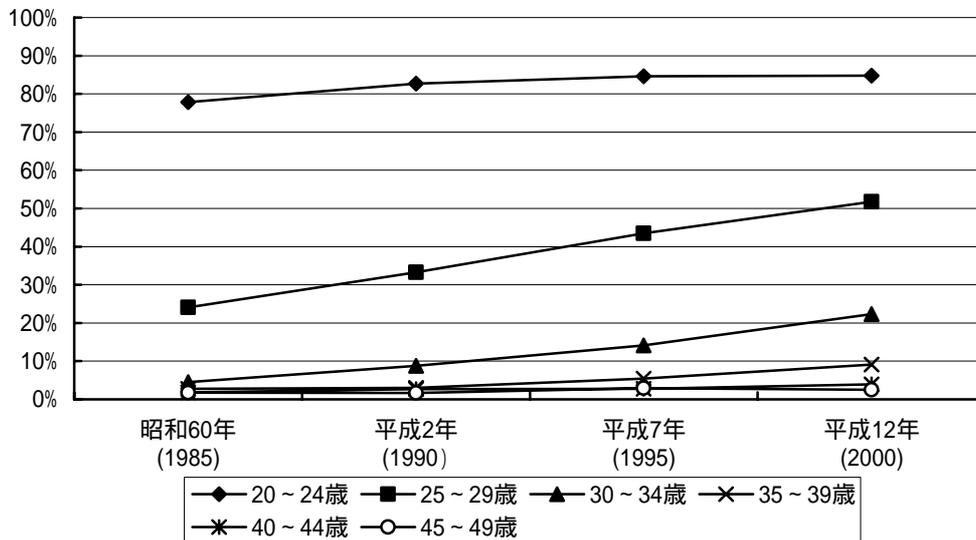
6 未婚者

男女別、年代別の未婚者の推移をみると、男性は30代後半以降の未婚率が上昇する傾向にあります。女性は20代後半～30代前半の未婚率が急上昇しています。

図表 7 年代別未婚率の推移（男性）



図表 8 年代別未婚率の推移（女性）



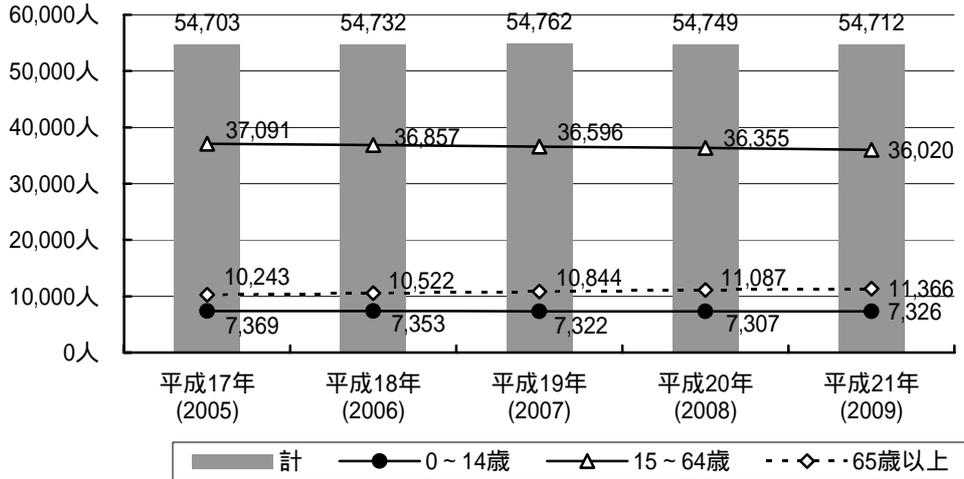
資料：国勢調査

7 人口の将来予測

本市の人口を推計すると、人口は横ばいの傾向にあり、総人口は平成21年には54,712人となることが予測されます。

年齢区分別の構成比をみると、年少人口(0～14歳)は13.4%、生産年齢人口は65.8%、高齢者人口は20.8%となり、少子高齢化が進行することが予測されます。

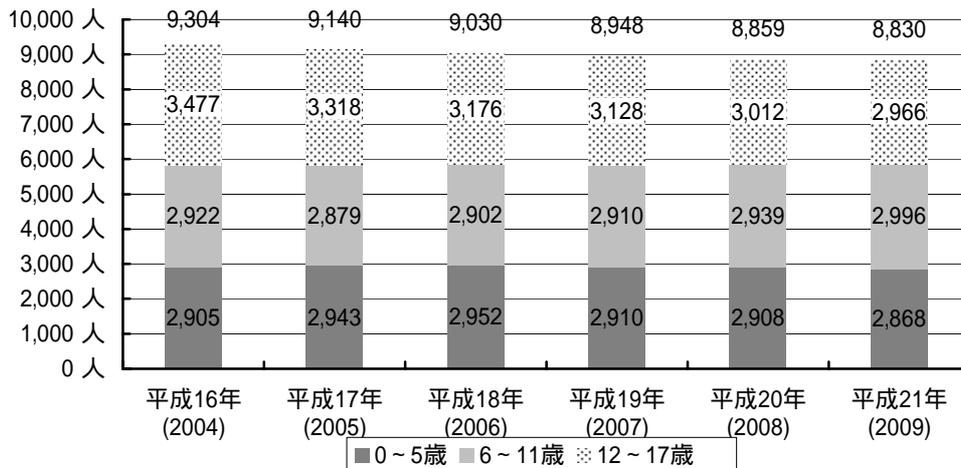
図表 9 人口推計



図表 10 年齢3区分別構成比の推移

	平成16年(2004)	平成17年(2005)	平成18年(2006)	平成19年(2007)	平成20年(2008)	平成21年(2009)
0～14歳	13.6	13.5	13.4	13.4	13.3	13.4
15～64歳	68.0	67.8	67.3	66.8	66.4	65.8
65歳以上	18.3	18.7	19.2	19.8	20.3	20.8

図表 11 児童人口の推計



本推計は、住民基本台帳人口を基準に、コーホート変化率法によって行った。

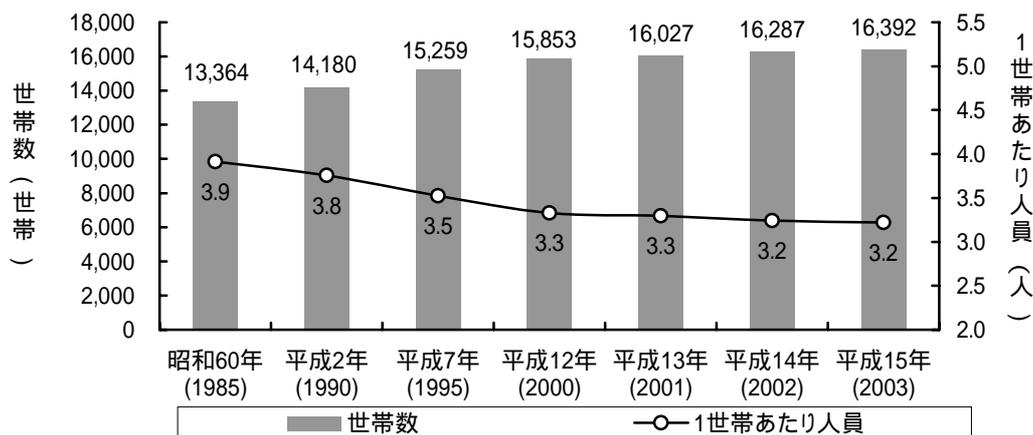
第2節 家族・地域の状況

1 世帯数・世帯人員

世帯数は増加傾向にあり、昭和60年から平成12年の15年間で14.2%増加しています。平成15年には、16,392世帯となっています。

一方、1世帯あたり人員は減少しており、平成12年には3.3人となっています。

図表 12 世帯数および一世帯あたり人員の推移



資料：平成12年まで国勢調査、平成13年以降は常住人口調査（各年10月1日現在）

2 世帯構成

平成12年において世帯全体のうち、核家族世帯が57.9%、その他の親族世帯が26.7%、単独世帯が15.2%の割合となっています。

世帯類型別には、核家族と単独世帯が増加傾向にあります。

また、核家族の類型別に見ると、増加しているのは夫婦のみの世帯であり、夫婦と子どもから成る世帯は減少しています。

子どものいる世帯の数は年々減少しています。昭和60年には18歳未満の親族がいる一般世帯が半数以上でしたが、平成12年にはおよそ3世帯に1世帯の割合まで減少しています。

図表 13 子どものいる一般世帯数の推移 単位：世帯、%

	昭和60年 (1985)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	増減率 (S60-H12)
一般世帯数 (総数)	13,352	14,159	15,253	15,819	18.48%
18歳未満親族がいる一般世帯数	8,109	7,409	6,542	5,581	-31.18%
(割合)	60.7%	52.3%	42.9%	35.3%	-
6歳未満親族がいる一般世帯	3,182	2,571	2,283	2,037	-35.98%
(割合)	23.8%	18.2%	15.0%	12.9%	-

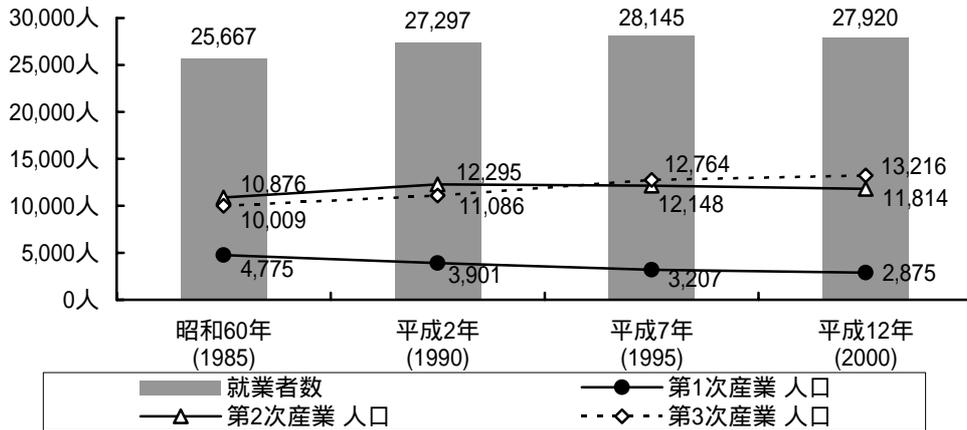
資料：国勢調査

3 就業人口・就業率

本市の就業者数は昭和60年から平成7年までは増加、平成7年から12年の5年間は減少しています。

産業別にみると、第1次産業人口は減少傾向、第2次産業人口はほぼ横ばい、第3次産業人口が増加しています。

図表 14 産業別就業人口の推移

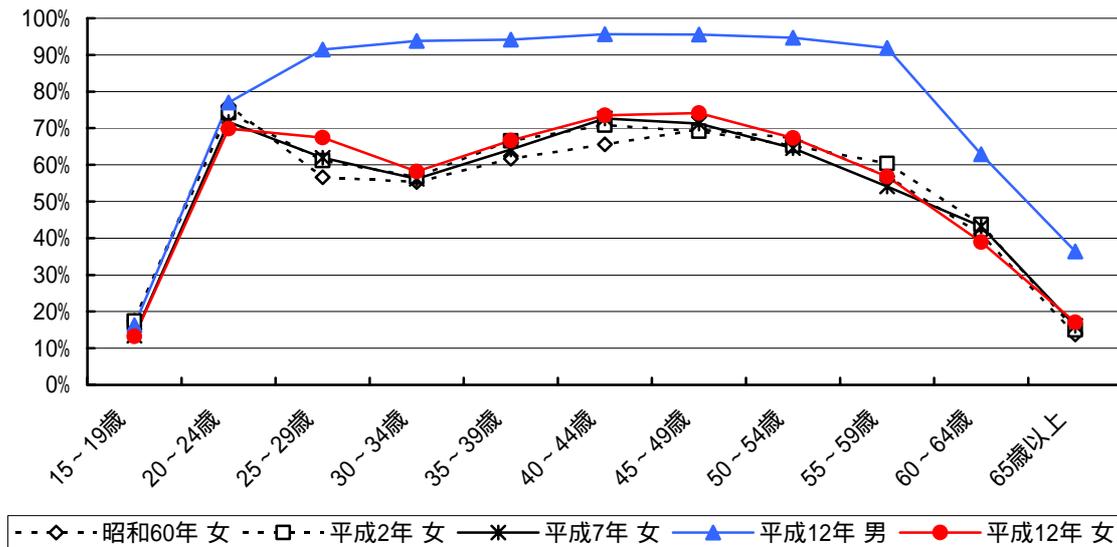


資料：国勢調査

4 女性の年齢別就業率

女性の年齢別就業率は、20代後半から30代の就業率の減少するM字型の曲線が見られます。平成12年におけるM字カーブは最も緩やかになっており、ほぼどの年代においても就業率は過去15年で最も高くなっています。

図表 15 女性の年齢別就業率の推移



資料：国勢調査

第3節 保育および教育の環境

1 保育所（園）

保育所については、現在本市には公立・私立を含め11の保育所があります。

定員に対してどれだけの人が入所しているか（定員充足率）を見ると、公立と私立を合わせて全体で100.3%とほぼ定員を満たしている状況にあります。

また、対象者をどれだけ収容できるのか（施設充足率）を見ると、公立と私立を合計して99.7%となっており、ほぼ充足しています。

特別保育については、すべての保育所において低年齢児保育を実施しています。また、障害児保育についても、対応しています。一時保育や病後児保育については実施していません。

図表 16 保育所（園）一覧

	園名	保育時間（平日）	保育時間（土）	低年齢児	障害児
公立	城西保育所	7時30分～19時00分	7時30分～12時30分	○	○
	上山川保育所	7時50分～18時00分	7時50分～12時30分	○	○
	山川保育所			○	○
私立	明照保育園	7時00分～19時00分	7時00分～12時00分	○	○
	みくに保育園	7時00分～19時30分	7時00分～19時30分	○	○
	ふたば保育園	7時30分～19時00分	8時00分～13時00分	○	○
	つくば保育園	7時00分～19時00分	7時00分～17時00分	○	○
	たま保育園	7時30分～19時00分	7時30分～17時30分	○	○
	あすなる保育園	7時00分～19時00分	8時00分～16時00分	○	○
	かなくぼ保育園	7時00分～19時30分	8時00分～13時00分	○	○
	もる保育園	7時40分～18時10分	7時40分～13時00分	○	○

図表 17 保育所（園）の状況（平成15年4月1日現在）

	箇所数	定員	現在入所者数	定員充足率	施設充足率	専任職員数
公立	3	200	181	90.5%	-	32
私立	8	765	787	102.9%	-	135
計	11	965	968	100.3%	99.7%	167

資料：社会福祉課調べ

図表 18 保育所（園）入所者数（延べ）の推移（各年4月1日現在）

		平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
保育所（園）児童数	0歳児	15	20	13	20	19	20
	1歳児	55	51	70	93	89	49
	2歳児	90	98	111	130	137	104
	3歳児	173	156	205	200	239	185
	4歳児	201	194	202	225	227	235
	5歳児	172	200	194	207	257	189
	計	706	719	795	875	968	792
保育所（園）施設数		11	11	11	11	11	11

資料：社会福祉課調べ

2 放課後児童クラブ

放課後児童クラブについては、現在5ヶ所の小学校で行っています。土曜日の預かりは2ヶ所となっています。

定員充足率：現在入所者数を定員で割った割合。

施設充足率：定員を対象者数で割った割合。収容率。

図表 19 放課後児童クラブ一覧

名称	保育時間（平日）	長期休暇・学校の振替	土曜日
西小学童クラブ	下校時～17時30分	7時45分～17時30分	7時45分～17時30分
結城小学童クラブ	13時00分～18時00分	8時00分～18時00分	8時00分～18時00分
城西小学童クラブ	13時00分～18時00分	7時30分～18時00分	-
城南小学童クラブ	13時00分～18時00分	8時00分～18時00分	-
江川北小学童クラブ	13時00分～18時00分	7時30分～18時00分	-

図表 20 放課後児童クラブの利用状況

学年	人数	学童クラブ	
		利用者	利用割合
1年生	478	46	9.6%
2年生	452	44	9.7%
3年生	448	44	9.8%
計	1378	134	9.7%

3 幼稚園

幼稚園については、現在本市には公立・私立を含め4ヶ所の幼稚園があります。土曜日に開園しているのは私立のみとなっています。

図表 21 幼稚園一覧

	園名	開園時間（平日）	開園時間（土）第2第4土曜日	
公立	玉岡幼稚園	9時00分～14時00分	休園	無
私立	富士見幼稚園	10時00分～14時00分	休園	有
	結城ひかり幼稚園	9時00分～15時00分	第2,4土曜日休園	有
	つくば幼稚園	9時30分～15時30分	第2,4土曜日休園	有

(平成16年4月1日現在各園則による)

4 学校教育

小学校については現在本市には9校、中学校については3校があります。

高等学校は、県立の結城第一高等学校、結城第二高等学校、鬼怒商業高等学校の3校があります。

図表 22 小学校の状況（平成16年4月1日現在） 単位：人、学級

	児童数（うち特別学級）	学級数（うち特別学級）
結城小学校	701(11)	23(2)
城南小学校	420(5)	14(2)
結城西小学校	406(9)	14(2)
城西小学校	302(2)	12(1)
絹川小学校	272(7)	13(2)
江川北小学校	249(5)	10(2)
江川南小学校	106(3)	7(1)
山川小学校	246(2)	11(2)
上山川小学校	201(7)	8(2)
合計	2,903(51)	112(16)

図表 23 中学校の状況（平成16年4月1日現在） 単位：人、学級

	生徒数（うち特別学級）	学級数（うち特別学級）
結城中学校	610(9)	19(2)
結城東中学校	400(8)	14(2)
結城南中学校	581(4)	18(2)
合計	1,591(21)	51(6)

資料：教育委員会調べ